

2014年度

# JICA研修コースの実績紹介

「廃棄物管理技術（応用、技術編）」



2015年2月24日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

page 1

# 1. 研修コースの紹介

1) コースリーダー / 原口 清史



2) 研修コース 名

- 和文： 廃棄物管理技術(応用、技術編)
- 英文： Advancement of Solid Waste Management Technologies  
(Advance, Technique)

3) 技術研修期間 2014/10/22 ~ 2014/12/19

4) 参加研修員： 8名 (6カ国)

参加国内訳

アルゼンチン、マレーシア、メキシコ、ナイジェリア、ベネズエラ、ベトナム

# 【参加研修員の国名】



世界各地から派遣された研修員の皆さんが、北九州市（JICA九州）に集まり廃棄物管理に関する技術研修に参加しました。

## 2. 研修目標

### 案件 目標

廃棄物管理(特に、廃棄物の最終処分及び中間処理)の技術改善に係る計画が提案される。

### 自国での検討～実施



### 日本での研修



ゴミ収集体験

#### 単元目標①

北九州市をはじめ、日本の廃棄物管理政策・行政の概要が説明できる。

#### 単元目標②

廃棄物管理の各工程(収集・運搬・焼却・中間処理・最終処分)について日本で採用されている技術・手法を説明できる。

#### 単元目標③

日本の産業廃棄物管理について政策の概要、再資源化技術及び最終処分場方法を説明できる。

#### 単元目標④

自国の技術改善に資するアイデアが特定される。



### 3. 研修員のコメント

(評価会議事録より)

研修員	研修コースの評価
メキシコ	研修には満足している。週に一度の振り返りがあればより理解が深まったと思う。正規研修時間内で討論配分を増やしてほしい。
ベネズエラ	研修内容には満足している。廃棄物管理の知識は向上した。自分の職務である環境教育活動について新しい情報が得られた。参加することができ感謝している。
アルゼンチンa	研修には大変満足している。多くの情報が得られ、研修前は色々な質問事項を抱えていたが、十分な答えを自国に持ち帰ることができ感謝している。
アルゼンチンb	研修内容はとても良かった。日本の技術力は高く適用が難しいものもあったが、低コストかつシンプルな技術を多く学べたので自国での実施に役立つ。
ナイジェリア	研修には満足している。自分の知識を向上できる興味深い研修だった。研修内容は全て有用だった。
ベトナム	対象分野が異なったので廃棄物に関する色々な新技術が学べた。(昨年は下水道分野でに参加)
マレーシアa	研修から色々な事が学べた。研修から多くの有益な情報が得られたので自国の発展に役立つ。
マレーシアb	研修には全体的に満足している。



研修で学んだ全てを自国で実施することは難しいと思いますが、研修を通じて課題に対する解決方法を見出すことができたとの意見が多く、帰国後のアウトカム情報を楽しみにしています。

## 4. コースリーダー所感

1. 廃棄物管理技術(応用、技術編)コースの研修は、今回が1回目の実施となりました。途上国においては、廃棄物問題は喫緊の課題であり具体的な実効性のある研修を提案していく必要があります。
2. 特に、案件目標である最終処分とコンポストには、比較的重点をおいたカリキュラムを設定しました。コンポストについては多くの国で有機性廃棄物が50%を占めていることを念頭に処分場の延命化等の廃棄物削減対策に注力しました。
3. 研修の効果を高める工夫として、
  - ①研修を分かりやすくするため単元目標毎に科目を集中させた。
  - ②研修員の理解度を増すため、現場の視察・見学の実習の機会を増やした。
  - ③廃棄物処理の仕組み等については、中間討論会やバス移動中に補足した。
4. 研修の運営体制については、JICAおよび委託先であるKITAとの連携は極めて緊密であり、北九州市や大学・企業などの受入れ機関も十分な体制で対応して頂き、順調に研修は遂行することができました。

## 5. 研修員スピーチ

# 研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたイルワンさん  
(マレーシアから参加されました)

# Mr. Engr. KHAIRUL IRWAN bin Kalid (通称:イルワンさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

ご来賓の皆様、こんにちは。

研修員を代表してスピーチを行う機会をいただき、本当に光栄に思います。

まず初めに、我々8名にこの特別な機会を準備してくださり、感動しています。ご多忙の中、今日のこの式を計画し別れを告げるためにご出席いただき、ありがとうございます。

それでは簡単に、ここ九州国際センター(KIC)滞在中に感じた率直な気持ちと、ここでの体験をお伝えしたいと思います。



マレーシアから参加されたイルワンさん



何よりもまず、我々はこの年の廃棄物管理技術(応用、技術編)コースのJICA研修員に選ばれ、大変恵まれ幸運であったと申し上げたいです。我々が直面した状況、経験したことを考えると、この種の研修プログラムは我々にとって大きな意味を持っています。

概してこの研修は、我々研修員の殆どにとって、初めて自国を離れた旅行であり、初めは興奮と不安が入り混じった気持ちでした。それにもかかわらず、ここに到着すると、こちらのスタッフの皆さんの優しさと整った環境のおかげで、心を休めることができました。全ての活動がとても有益で、楽しく、よく計画されていました。我々は初めての場所を数多く訪問し、新しいことをたくさん体験しました。

その他には、友人間やスタッフの方と意見を交わしたことがとても興味深く、ためになり、面白いものでした。そのため、どのくらい日にちが過ぎたかも気がつきませんでした。我々はそれぞれ別々の国から来ており、別々の文化を持ち、別々の社会に属しています。しかし、生活の中で共通の問題と願望を持っています。それが我々を引き合わせ、将来も結び付けることになるのだと思います。



閉講式で上野副理事長より修了書を授与されたイルワンさん。

この研修プログラムは我々のキャリアにとり、とても重要で適切であったと、心からお礼を申し上げます。我々は幼虫としてやってきて、今、蝶々となって帰国しようとしています。この場をお借りして、私たちは誰一人として、研修で得た貴重な知識と技術が無駄にしないと心から誓いたいと思います。実際、何としても我々は知識と技術を向上させ、高めたいという願望を持っています。

廃棄物管理に関する知識への探求はここで終わりません。さらに、帰国後できる限り我々の知識を伝えることもお約束します。これは大きな責任を伴う困難な課題ですが、出来る限りのことをいたします。特に廃棄物管理において、母国の環境状態をより良くし、改良していくことは我々の夢です。この研修は新たな自信と、多くの新しいことを今までより効率的に行うことができるという信念をもたらしてくれました。



先程も申しましたように、成功したプログラムは全てみなさんの努力の賜物であり、それを可能にしてくださったお一人お一人に心からの感謝を表したいと思います。もちろん、何よりもまず我々はこの研修に出資してくださったJICAとKITAの連携に深謝致します。我々に対するみなさんの崇高で無私無欲の行為は決して忘れません。



さらに、この研修全体を円滑に調整し、手助けしてくださったコーディネーターのアラタケ(荒竹)さん、コースリーダーのハラグチ(原口)さんに感謝します。お二人とも良き友になってくださり、とても素晴らしい仕事をしてくださいました。同様に、この研修の成功はJICAプログラムオフィサーのトクムラ(徳村)さんの熱心で優れた管理能力のおかげによるものでもあります。

KITA代表として事務局課長のトヨタ(豊田)さんにも心からの感謝を送りたいと思います。お茶会や寿司パーティーなどの日本文化に関するイベントを計画してくださいました。2か月の研修プログラムの中で訪れた、全ての行政機関と民間企業にも、もちろん心から感謝いたします。我々に与えてくださった知識と技術は十分に活用、実践します。我々に進路を示し、ノウハウと向かうべき場所を教えてくださいました。そして今、できる限りそれに向かって近づいて行くことが我々の義務です。



大変悲しいことではありますが、さよならを言って旅立つ時がやってきました。しかし、全て始まりには終わりがあるということは普遍的な事実であり、それは我々の人生において最もつらいことです。

我々は、皆さん一人一人を、そして皆さんが示してくれた思いやりをきっと懐かしく思い出すことでしょう。いつまでも忘れません。そして、もし皆さんが我々の国を訪れたいと思われたら、その時は心から喜んでお迎えします。

Minasama,

Saigo ni ,watashi ni ,mou ichido ,minasan ni ,Kansha no ,kotoba wo, iwasete kudasai.

Watashi tachi wa, minasan no, shiawase to, akarui miraii wo, inotte imasu.

Mata, itsuka, dokoka de, aerukoto wo, inori mashou..

Hontou ni Arigatou Gozaimashita.



## 6. 研修アルバム



講義終了後、講師と記念撮影



響灘開発・最終処分場(海面埋立)



プラスチック資源センター



研修先での講義



関門国道トンネル



若戸大橋を背景に



門司港レトロ見学



閉講式終了後の立食パーティー